

■ 前期計画の振り返り

● 第1期旭区地域福祉保健計画（旭区役所：平成18～22年度）

第1期計画は「すべての区民が住み慣れた地域で健康でしあわせな生活を送れるまち、旭区」の実現を目指しました。

区全域を対象とした「全域計画」と15地域ごとの「地域計画」で構成しました。「地域計画」を計画の基本とし、地域の単位を比較的小さい生活圏域としたことで、地域ごとでの目標や課題が明確となり、地域住民が地域の目標に向けて、より主体的・積極的に取り組めるようになりました。

住民と区、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等が一体となって計画を推進する上で、特に地域計画においては、地域により身近な場所にある地域ケアプラザが、「地域における福祉保健の拠点施設」としての役割を担いました。

「全域計画」においては、区全域を視野に入れた課題の解決として、子育て、高齢者、障害者、健康、安心・安全などの分野別の取組と、地域で共通する課題に対して人材、情報、資金面での支援を行いました。

これにより、サロンをはじめとする親子や高齢者、障害者が集える場づくりの推進、ボランティア講座等の実施による地域活動のきっかけ作り、支えあいネットワーク支援や分野別連絡会等の実施によるネットワークの強化、地域フェスタの実施等による情報の提供・共有等がなされました。



(地域フェスタ)

● 第2次旭区地域福祉活動計画（旭区社会福祉協議会：平成18～22年度）

地域福祉活動計画は、地域福祉を進めるための「民間領域の地域の計画」です。旭区社会福祉協議会（以下「旭区社協」）には、区内の社会福祉施設・機関・団体の多くが会員として加入しており、地域福祉を積極的に推進する役割を果たすため、旭区地域福祉活動計画（以下「活動計画」）の策定・実施に携わってきました。

第1次活動計画は、平成8～17年度の10年計画でしたが、急速な社会の変革やこれに伴う地域住民ニーズの変容などにより、当初策定した内容が実態に沿わなくなり、実施できなくなった事業もありました。

第2次活動計画は、こうした第1次活動計画の反省に立ち、平成18～22年度の5年計画として策定・実施しました。内容は第1次活動計画から継承した「このまちが好きと言えるまちづくり」という基本理念に基づき、「助け合い、共に生きる豊かな地域社会づくりを」「みんなでボランティア活動を」「みんなが取り組む自立と参加」「健やかに生まれ育つあたたかい地域社会」の4本柱に沿って諸事業を進めてきました。なかにはニーズ自体の大きな変化等により事業項目自体を廃止しましたが、それ以外は、会員団体や地域のみなさんのご協力により、ほとんど計画どおりに事業が進められ、概ね活動計画に掲げられた目標を達成することができました。これらの事業成果に確信を持ち、更に新たなニーズにも対応していきたいと考えます。



(社会福祉大会)